

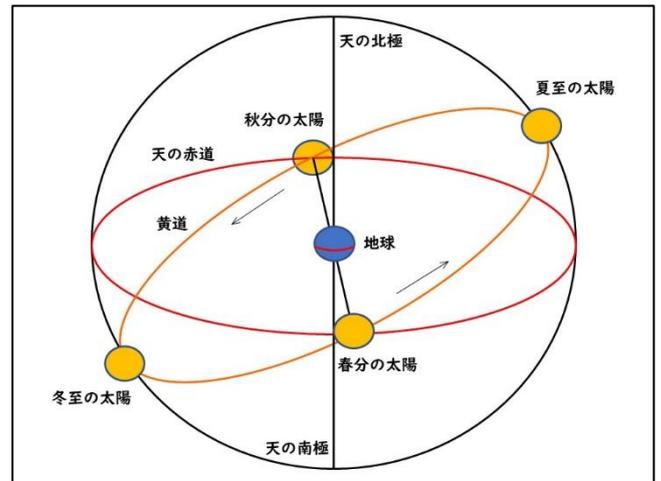
## 春分のはなし

今年の春分の日は3月21日(月)で、国民の祝日として学校もお休みになりますね。

さて、「春分の日」とは「自然をたたえ、生物をいつくしむ」と説明されています。この時期、冬の寒さもやわらぎすごしやすくなって、生き物も活動を始める時期です。

国民の祝日に関する法律では「春分日」を「春分の日」とすると定めています。春分日は国立天文台が前の年の2月1日に発行する「歴要項」で発表され、それを元に「春分の日」が決まります。つまり春分の日は天文台の天体観測によって日にちが決まる祝日なのです。では「春分日」はどうやって決まるのでしょうか。

地球から見て太陽が1年かけて動いてゆく道筋を「黄道」とよびます。また地球の赤道をそのまま空に当てはめたものを「天の赤道」といいます。黄道が天の赤道を南から北へ交わる点を春分点といいます。太陽が春分点を通過する瞬間を「春分」、その春分になる日を「春分日」といいます。つまり春分の日とは「太陽が春分点を通過する日」です。でも太陽が春分点を通過



地球から見た太陽の動き

する日は毎年同じ日というわけではありません。1年は平年で365日と決まっていますが、地球が太陽の周りを一周するには365日と少しかかります。これにより春分日は毎年少しずつずれてゆき、ずれがたまると日にちが変わってしまうわけです。また春分点自体も少しずつ移動しています。こういった事から、国立天文台による観測と計算で春分日を決めているわけです。

春分の日には春のお彼岸でもあり、お墓まいりの習慣もあります。気候もあたたかく、お墓まいりにもいい季節です。あたたかな日差しのもとご先祖様に思いをはせるのも、たまにはいいかもしれませんね。

(解説員: 疋田 純之)